

奈良の伝統工芸に触れる。「茶筌、筆、墨」



今の時代を見ていると、豊かな社会は私たちの生き方を多様にしましたが、将来の自分が見えにくい時代かもしれません。情報化社会と言われるなか、便利さや快適さを追い求めたとしても、私たちは自分自身を見失ってはならないのです。この度のコロナ禍では、新たな自分への気づきと周囲の人への気遣いの大切さと、これからも永久に安全な環境などというものもない、ということを学びました。そして、外を見ていた私たちがもう一度、ライフスタイルを見つめ、人間としての成長に幸せを感じていく、そういう人間の営みのひとつに“書”や“茶”の時間をとり入れてみるのもいかがでしょうか。



2021

暮らしの中の定番

～奈良の伝統工芸に触れる。「茶筌、筆、墨」

10月25日(月) - 11月1日(月)

開催場所：奈良まほろば館 東京都港区新橋1丁目8-4 SMBC 新橋ビル1F

職人が一つひとつ丁寧に手作りした伝統工芸の品々。日常の暮らしの中で生まれ、受け継がれてきました。地域の特性を活かした伝統工芸品は、温かみがあり味わい深いものですが、何か特別な存在という印象があるかもしれません。今回の催しでは、奈良の伝統工芸品の中から、茶筌、筆、墨をご紹介します。普段会えない大切な人にお手紙を書いてみたり、抹茶を点でて、ほっと豊かなお茶の時間が生まれたり。日々の暮らしの中に、こんな日常を登場させてみませんか。

奈良県産業振興総合センター